

2025.05.24 症例から学ぶ General Medicine その1

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

機能性胃腸症で困るケースが時々あります。あんなふうによく診察して投薬ができると良いのですが。

ゾコーバ、ゾフルーザはいらない。

マイコプラズマの話、DPBの診断の話、NTMの考え方の話、COPDの考え方について

マイコプラズマ肺炎の聴診の仕方

中野先生に習った腹診と舌診、明日からしてみます。squawk 私も数年前から気を付けて聴いています。明日からも聴診が楽しみです。

高齢者に対する診療のアプローチがいよいよ面白い方向に向いてきた

食べれない人には無理に食べさせない

消化器症状のあるひとで、冷え、不安の症状あれば、漢方薬検討。

川島先生の辛口レクチャー HIV患者の予後が改善していること

漢方診察と処方箋が合えば、速やかに全人的に状態を改善でき患者さんも医師も双方満足感が得られると知ったこと。

川島先生のDPBの話が非常に印象深かったです。私も以前に、聴診のみで気管支喘息と診断していた方が、当院で咳が改善せず、他院でDPBと診断・加療された30歳代の女性の方を経験しました。DPBがのちのち気管支拡張症になるという話が非常に興味深かったです（知りませんでした）。見逃している例が少なからずあると思いました。

漢方のセッションでのつわりに効く薬の話

2025.05.25 症例から学ぶ General Medicine その2

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

おそらくマイコプラズマを見逃していただろうと思いました。講義を聞いて良かったです。PFAPAには出会ったことがありませんが次は見逃しません。

清田先生の抗生剤に効果がないマイコプラズマ感染症に対する吸入ステロイド療法を興味深く聞かせて頂きました。ありがとうございました。

大動脈解離はやっぱり難しいです 病名を絞るために必要なもの、無駄なものがあること

マイコプラズマでステロイドが有効ということ マイコプラズマの診断・治療

身近な症状からの、深いアプローチで、臨床の怖さや醍醐味が感じられる、素晴らしい内容でした。

原因不明な炎症病態でマイコプラズマは念頭に置く

発熱・頭痛・倦怠感で発症：マイコ、インフル、カンピロ

流石、清田先生の講義はすばらしい。年1-2回は聞きたいものです。

PFAPA症候群

気道過敏性のある方にこれまでもパルミコート使用したことがありますが、清田先生のお話を聞いて今後はより丁寧に説明ができそうです。

マイコプラズマのPA法 マイコの多様性

大動脈解離とマイコプラズマ

2025.05.25 症例から学ぶ General Medicine その3

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

restless bladder syndrome 寝汗

HIV の最新情報と寝汗について

マイコプラズマ感染の症状にステロイド吸入が有効であること

AIDS はなおる病気だということ

現在の HIV 感染症治療をきちんと行えば、予後を含めて生活もほとんど正常者と変わらずに過ごせるようになっていくこと。

大場先生の HIV 感染症のフォローアップは今後プライマリケアへというメッセージと上田先生のコモンの徴候を取り上げつつ、網羅的に端的にまとめていただいたこと

所用のため大場先生のお話しのみ聞けました。症例提示から流れるような HIV/AIDS の tips と目が覚めるような講義でした。

寝汗

DPB の症例（川島先生）マイコプラズマの病態

夜間頻尿のなかにレストレス○○○症候群があるのですね。不眠も頻尿ももっと丁寧に聴いてあげたいです。

不眠 BAD SLEEP、ビタミン B12 欠乏で上半身発汗

大場先生 HIV・AIDS に対する症例について考えさせられました。以前に読んだなにかで、状態の安定している HIV 感染症の方の診療が一部の感染症専門医の外来に集中しており、患者さん自身も感染症専門医のところまで受診しないといけないこともあり、共々負担になっていると知りました。今後は、プライマリケア医として HIV 患者さんも診ていければと思っています。

大場先生の網羅的な HIV 感染の講義もよかった。視点をかえながら、各種レビューをする上田先生の講義も流石でした。

「不眠」「寝汗」の深掘りがとても勉強になりました。

寝汗のお話は勉強になりました。